

第896回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成29年7月13日（木）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第895回教育委員会会議録の承認について

4 第896回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

- (1) 県立高等学校将来構想審議会への諮問について (教育企画室)
- (2) 「宮城県高等学校入学者選抜試験」制度に対する請願について (高校教育課)
- (3) 県立高等学校における物損事故に係る和解について (高校教育課)

6 専決処分報告

- (1) 第360回宮城県議会議案に対する意見について (総務課)

7 議 事

- 第1号議案 県立高等学校将来構想審議会委員の人事について (教育企画室)
- 第2号議案 宮城県スポーツ推進審議会委員の人事について (スポーツ健康課)

8 課長報告等

- (1) 平成30年度県立高等学校組織編制計画について (教育企画室)
- (2) 宮城学院女子大学及び仙台白百合女子大学との包括連携協力協定の締結について (教職員課)
- (3) 平成29年度「みやぎ小・中学生いじめ問題を考えるフォーラム」の開催について (義務教育課)
- (4) 平成29年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果について (高校教育課)
- (5) 平成30年度公立高等学校入学者選抜について (高校教育課)
- (6) 平成29年度公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について (施設整備課)
- (7) 宮城県美術館リニューアル基本方針策定検討会議について (生涯学習課)
- (8) 平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）の本県出場校等について (全国高校総体推進室)
- (9) 第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）の開催について (全国高校総合文化祭推進室)

9 資料（配付のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧 (総務課)
- (2) 平成29年3月高等学校卒業生の就職内定状況（6月末現在）について (高校教育課)
- (3) MIYAGI 2017南東北インターハイNEWS（第10号） (全国高校総体推進室)
- (4) 美術館特別展「ルオーのまなざし 表現への情熱」 (生涯学習課)
- (5) 第1回「わたしのおすすめしたい本」ポップ作品コンクール (生涯学習課)

10 次回教育委員会の開催日程について

11 閉会宣言

（案）

教 企 第 号
平成 年 月 日

県立高等学校将来構想審議会会長 殿

宮 城 県 教 育 委 員 会

今後の県立高等学校の在り方について（諮問）

このことについて、県立高等学校将来構想審議会条例（平成20年宮城県条例第4号）第1条の規定により、別紙理由書を添えて諮問します。

(別紙)

理 由 書 (案)

本県では、平成13年に策定した「県立高校将来構想」及び平成22年に策定した「新県立高校将来構想」に基づき、魅力ある高校づくりを目指して、志教育の推進や地域のニーズに応える高校づくり、生徒数の減少に対応した学級減や学校再編などの高校教育改革に取り組んでまいりました。

しかしながら、「新県立高校将来構想」の策定から7年余が経過し、少子高齢化が急速に進展するとともに、東日本大震災の発生等により、経済環境や生活環境、地域社会の有り様は大きく変化しております。

高校教育についても、社会情勢が急速に変化していく中で、少子化の進展への対応、復興後を見据えた次代を担う人材の育成、地方創生やグローバル化への対応がますます重要となっています。さらに、様々な学習歴をもつ生徒一人一人が、個性や能力を活かして学び、地域社会の一員として能力を発揮していくことができるよう体制を整えていく必要があります。

このようなことに加えて、県教育行政の基本的な計画である第2期宮城県教育振興基本計画を平成29年3月に策定したことを踏まえ、次期県立高校将来構想を2年前倒しして策定することとし、宮城の将来を創造し支えていく人材の育成に向けて、多角的な見地から調査審議いただくため、県立高校教育が果たすべき役割や県内の高校の配置を含めた今後の県立高校の在り方について諮問するものです。

宮城県教育委員会
教育長 高橋 仁 様
教育委員 各 位

宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45
宮城県教職員組合
執行委員長 川名 直子



「宮城県高等学校入学者選抜試験」制度に対する請願

【請願の趣旨】

日頃より、宮城県教職員組合（以下、宮教組）の活動に対してご理解ならびに誠意あるご対応をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、2013年度から始まった新入試制度は、開始当初から様々な問題点が指摘され、宮教組といたしましても、保護者の悩みや相談に応える「高校入試110番」や、中学校現場の声を聞く「高校入試に関するアンケート」等の活動を元に、毎年「請願」や「要請」を重ねて参りました。このように問題の多い現行入試制度に対し、実施5年を経た今年2月、ようやく「一本化の方向で抜本的な見直しをする」という答申が出されたことに、生徒、保護者そして中学、高校現場の声が届いたものと、胸をなで下ろしているところです。

しかしながら、新入試制度の具体的な制度設計はこれからの課題であり、それまでは、現行入試制度が様々な問題をはらんだまま継続されることとなります。そこで、新入試制度が実施されるまでの間、生徒、保護者、そして教育現場が、制度と制度の狭間で我慢を強いられないようにする必要があります。また、新たな入試制度を、現行入試制度と同じ轍を踏まないように、全ての生徒に公平に光を投げかけ、教育現場をいたずらに混乱させないものにしなければなりません。

そこで、以下の点について、真摯にご検討いただきたく請願いたします。

【請願事項】

- 1 現行入試制度に対して
 - (1) 前期試験の受験条件の評定平均から、1年生の評定値を外すこと。(生徒の受験機会を奪わないため)
 - (2) インフルエンザ等体調不良時の救済措置として、別日程での追試を検討していただきたい。(生徒の努力が水泡に帰することのないように)
 - (3) 入試事務については、以下の3点について真摯に検討していただきたい。
 - ① 出願は本人が行うようにすること。 ② 合格通知は本人受領とすること。
 - ③ 受験票や合格通知の発送に係る費用は高校側が負担すること。
 - ④ ③が困難な場合でも、郵送に係る費用は高校側で明示し、実際の郵送料が明示した額を超えた場合は高校側の負担とすること(緊急)
- 2 新入試制度に対して
 - (1) 新入試制度の検討過程は公開とし、素案がまとまった時点で「パブリックコメント」の実施、宮教組との協議等を実施して、生徒、保護者、教育現場の思いや願いを生かしたものにすること。
 - (2) 特色化入試の導入については、高校側が任意で選択できるようにすること。
 - (3) 全員面接など、生徒の過重負担となるような方法は採用しないこと。



第360回宮城県議会議案に対する意見について

平成29年6月宮城県議会に提案される下記の予算議案及び予算外議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により知事から意見を求められたので、教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和31年宮城県教育委員会規則第12号）第3条第1項の規定により平成29年6月8日専決処分し、異議のない旨回答した。よって同条第2項の規定により報告する。

記

予算議案

- ・平成29年度宮城県一般会計補正予算

予算外議案

- ・県立学校条例の一部を改正する条例

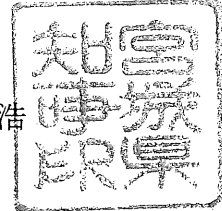
平成29年7月13日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

財 第 57 号
平成29年6月8日

宮城県教育委員会教育長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩

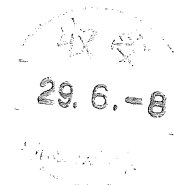


第360回宮城県議会議案について（照会）

このことについて、下記議案を提出したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

- 1 予算議案
平成29年度宮城県一般会計補正予算
- 2 予算外議案
県立学校条例の一部を改正する条例



第360回宮城県議会（定例会）提出予算議案の概要

～平成29年度6月補正予算の概要（教育庁関係分）～

1 補正予算の概要

単位：千円

平成28年度	平成29年度			比較	
6月現計予算額[A]	現計予算額[B]	6月補正額[C]	計[B+C]=[D]	[D-A]	[D/A]
215,233,021	183,995,639	270,067	184,265,706	▲ 30,967,315	85.6%

2 事業の概要

単位：千円

事業概要等	補正額	財源
総合運動公園施設整備費（宮城スタジアム） ■宮城スタジアムの芝面改修に要する経費 ・芝面と走路面との段差の解消 ・寒冷地型の芝の播種から育成が必要 ・平成29年度は圃場の整備（播種）を行う。 【事業期間】平成29年～平成32年3月末	1,900	繰入金 1,900 （スポ振基金）
総合運動公園施設整備費（テニスコート） ■テニスコートの人工芝化及びクラブハウスの整備に要する経費の補正。 ・テニスコート10面をハードコートから人工芝へ改修 ・応急仮設住宅を活用したクラブハウスの整備 ・地方創生拠点整備交付金を活用	217,407	国庫 100,000 繰入金 27,407 （スポ振基金） 県債 90,000
東北歴史博物館観光拠点整備費 ■東北歴史博物館のピロティの改修に要する経費の補正 ・ピロティ部分に間仕切りを設置し情報発信・イベント開催スペースとして活用 ・地方創生拠点整備交付金を活用	50,760	国庫 25,380 繰入金 2,580 （文振基金） 県債 22,800

3 債務負担行為（新規）

単位：千円

事業概要等	期間	限度額
総合運動公園管理設備工事 宮城スタジアムの芝面改修に係るもの。 ※事業年度が複数年となることから債務負担行為を設定するもの	H29.7～ H32.3 （3カ年）	181,000

第360回宮城県議会（定例会）提出予算外議案の概要（教育庁分）

議第 152 号議案

県立学校条例の一部を改正する条例

東日本大震災により被害を受けた者に係る入学金等の免除の
期間を延長するため、所要の改正を行おうとするもの

施行 公布の日

所管 高校教育課

○主な内容

東日本大震災により被害を受けた者に係る入学金等の免除の期間を
平成30年度まで延長

平成30年度県立高等学校組織編制計画について

1 再編統合

「栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について」（平成26年7月公表）に基づき，本吉地区における気仙沼高等学校及び気仙沼西高等学校の再編統合を行います。

（本吉地区）

【H29】

【H30】

宮城県気仙沼高等学校全日制課程
普通科 5学級（200人）
宮城県気仙沼西高等学校
普通科 2学級（80人）

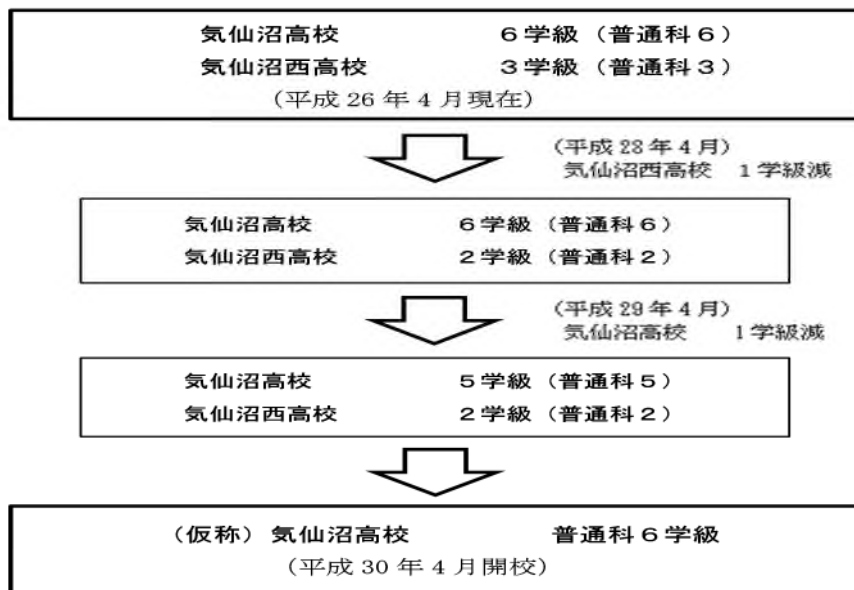


（仮称）
宮城県気仙沼高等学校全日制課程
普通科 6学級（240人）

（参考）

「栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について」（平成26年7月公表）

本吉地区における高校の再編



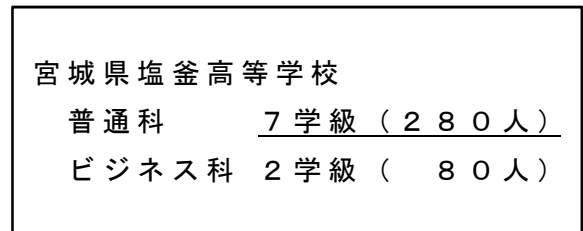
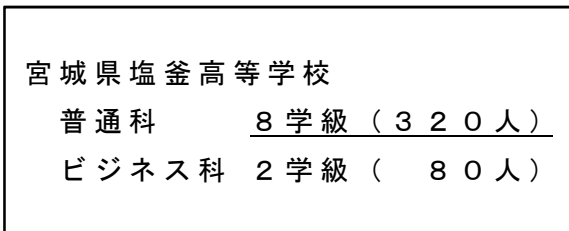
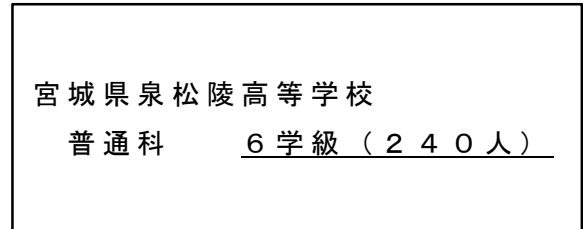
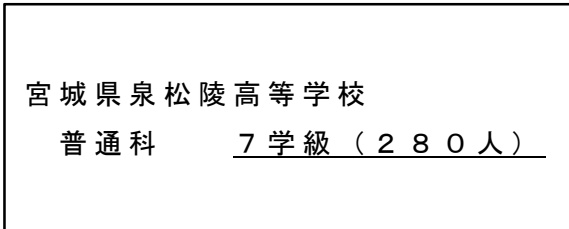
2 学級減の措置

中学校卒業生数の減少に基づき、次の3校において、第1学年の学級数を1学級減とする。

(中部地区)

【H29】

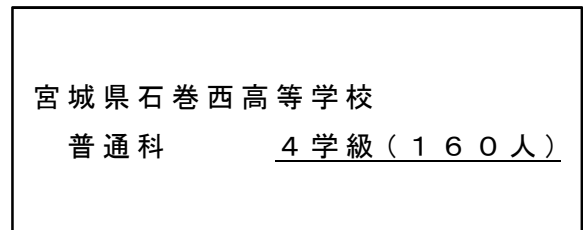
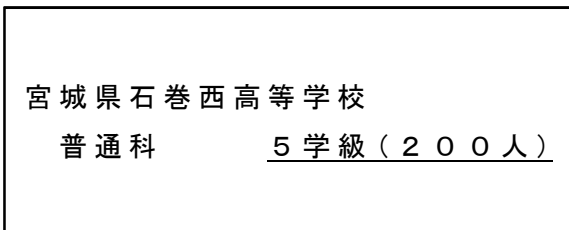
【H30】



(石巻地区)

【H29】

【H30】



宮城学院女子大学及び仙台白百合女子大学 との包括連携協力協定の締結について

大学と県教育委員会が連携のもと相互に協力し、学校教育・学術の振興及び地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、包括連携協力協定を締結したもので、宮城学院女子大学及び仙台白百合女子大学を含めて、県内の10大学と同様の協定を締結したこととなる。

1 宮城学院女子大学との包括連携協力協定

(1) 締結式

- ① 日 時：平成29年5月24日（水）
- ② 場 所：宮城県庁舎4階庁議室
- ③ 出席者：大学側：学長，副学長，社会連携部長，教育学部長，教育学科長，
大学事務部長
県教委：教育長，教育庁関係課室長

(2) 連携事項

- ① 大学及び学校における教育研究，調査研究に関すること
- ② 幼児・児童・生徒・学生の学習支援及び女性の自立や社会進出等のキャリア支援に関すること
- ③ 児童・生徒等への音楽を通じた文化及び学術効果の還元に関すること
- ④ 教員の養成及び研修に関すること
- ⑤ その他協定の目的に照らして必要と認められる事項に関すること

2 仙台白百合女子大学との包括連携協力協定

(1) 締結式

- ① 日 時：平成29年6月14日（水）
- ② 場 所：宮城県庁舎4階庁議室
- ③ 出席者：大学側：学長，人間学部長，事務局長
県教委：教育長，理事兼教育次長，教育次長，教育庁関係課室長

(2) 連携事項

- ① 大学及び学校における教育研究，調査研究に関すること
- ② 幼児・児童・生徒・学生の学習支援及び学校ボランティアの推進に関すること
- ③ 教員の養成及び研修に関すること
- ④ その他協定の目的に照らして必要と認められる事項に関すること

※ 連携のイメージ（別紙）

宮城学院女子大学との連携イメージ

※ 締結式 日時：平成29年5月24日（水）
場所：宮城県庁舎4階庁議室

連携の目的

宮城学院女子大学と県教育委員会が連携のもと相互に協力し、学校教育・学術の振興及び地域社会の発展と人材育成に寄与する。

宮城学院女子大学

連携協力

県教育委員会

連携事項

大学及び学校における教育研究・調査研究

幼児・児童・生徒・学生の学習支援、**女性の自立や社会進出等のキャリア支援**

児童・生徒等への音楽を通じた文化及び学術効果の還元

教員の養成・研修

今回の連携事例

包括連携協力協定

- 大学が開催する講座・講話や行事等への参加
- 宮城県が企画する教員研修等への講師派遣等の協力
- 幼・小・中・高等学校における特別授業の実施、授業研究への指導助言
- **幼・小・中・高等学校で行われる女性の自立や社会進出等のキャリア支援**
- **小・中・高等学校へ音楽を通じた文化及び学術効果の還元**

仙台白百合女子大学との連携イメージ

※ 締結式 日時：平成29年6月14日（水）
場所：宮城県庁舎4階庁議室

連携の目的

仙台白百合女子大学と県教育委員会が連携のもと相互に協力し、学校教育・学術の振興及び地域社会の発展と人材育成に寄与する。

仙台白百合女子大学

連携協力

県教育委員会

連携事項

大学及び学校における教育研究・調査研究

幼児・児童・生徒・学生の学習支援、**学校ボランティアの推進**

教員の養成・研修

今回の連携事例

包括連携協力協定

- 大学が開催する講座・講話や行事等への参加
- 宮城県が企画する教員研修等への講師派遣等の協力
- 幼・小・中・高等学校における特別授業の実施、授業研究への指導助言
- **学校ボランティアの推進及び学校インターンシップの実施**

平成29年度「みやぎ小・中学生いじめ問題を考えるフォーラム」の開催について

(小学生対象)

- 1 趣 旨 いじめ問題について小学生同士が学校を越えて話し合い、児童が主体となって取り組むいじめ未然防止のアイデアを発信する。また、コミュニケーションスキルを高める指導法等についての研修を通して、教員のネットいじめ問題への対応力を高めるとともに、いじめに向かわせない家庭教育の在り方を保護者が考える機会とする。
- 2 内 容 ポスターセッションを取り入れたワークショップ形式の話し合いを行い、児童が主体となったいじめ防止に向けたアイデアを「(仮) 子供たちの宣言」にまとめる。また、引率教員や保護者を対象に研修会を行う。
- 3 期 日 平成29年8月10日(木)
- 4 会 場 宮城県行政庁舎講堂及び第二入札室 仙台市青葉区本町3丁目8-1
- 5 参加者 仙台市を除く県内国公立小学校児童144名、引率教員72名、保護者代表36名(予定)
- 6 講 師 児童対象 : ファシリテーター 「ALL 東北教育フェスタ」を中心とした大学生
教員対象 : 講演会講師 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏
保護者対象 : 講演会講師 栗原市立鶯沢小学校 校長 高橋 裕彦 氏

7 日 程

(1) みやぎ小・中学生いじめ問題を考えるフォーラム【小学生対象】(県庁講堂)

- 9:45 開会
- 9:45~10:10 開会行事 知事ビデオメッセージ 教育委員会メッセージ(教育委員)等
- 10:10~11:15 ワークショップ1
・ 各校のいじめ未然防止に係る取組について、ポスターセッション形式で発表し合い、グループの考えをまとめる。
- 11:15~12:00 昼食・休憩
- 12:00~12:30 宮城県小・中学校いじめゼロCMコンクール表彰式
- 12:30~13:15 ワークショップ2
・ いじめに向かわない気持ちになるための取組を考え、まとめる。
- 13:15~14:00 ワークショップ3
・ いじめ防止のアイデアを「(仮) 子供たちの宣言」にまとめる。
- 14:15~14:50 発表
- 14:50~15:10 閉会行事 課長あいさつ等

(2) 適切なコミュニケーションの在り方を考えさせる指導についての研修(みやぎ広報室)

【保護者対象】(10:15~11:15)

演題 「(仮) いじめに向かわせない子供を育てる学校・家庭・地域の連携」

講師 栗原市立鶯沢小学校 校長 高橋 裕彦 氏演題

【教員対象】(12:30~14:00)

演題 「(仮) ネットいじめを防ぐコミュニケーションスキル」

講師 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏

特別出演 LINE 株式会社 公共政策チーム 高橋 誠 氏

平成29年度公立高等学校入学者選抜学力検査の分析結果について

1 目 的

- (1) 検査問題について検討し、今後の問題作成の改善に役立てる。
 (2) 受験者の学習状況を把握し、中学校・高等学校の学習指導の参考とする。

2 学力検査

・前期選抜・・・国語, 数学, 英語 ・後期選抜・・・国語, 社会, 数学, 理科, 英語

3 分析方法

全日制課程の受験者のうち、前期選抜では、25校200人、後期選抜では、50校400人の答案を抽出し、教科ごと、小問ごとにその状況を分析考察した。

4 分析結果

(1) 得点分布

- ① 前期選抜・・・冊子4ページ ② 後期選抜・・・冊子28～29ページ

(2) 各教科の概況

() は昨年度の平均点

【前期選抜】	
国語 平均点 53.0点 (59.7点)	文章中の情景描写や比喻表現等を個別的に読み取ることはできているが、文章全体の展開や表現の工夫に注意しながら、文章の内容を的確に理解し、読み取った内容を整理して表現する力に課題がある。
数学 平均点 50.8点 (47.7点)	基礎的な計算力については定着が見られるが、身近な事象を数学的に捉えて考察し処理する力、グラフや図などから必要な情報を読み取る力に課題がある。
英語 平均点 63.3点 (55.6点)	基礎的・基本的なコミュニケーション能力を見る問題、基本的な文法・語法に関する知識・理解と語彙力を見る問題はよく理解できているが、英文を構成する力や内容を的確に読み取り表現する力に課題がある。
【後期選抜】	
国語 平均点 60.8点 (65.4点)	本文を部分的な範囲で読み取る力や、漢字の読みや古典の基礎知識をみる問題では学力の定着が見られるが、文章全体の内容や特徴を正しく読み取り、適切に表現する力に課題がある。
社会 平均点 58.3点 (61.1点)	基礎的知識を直接的に問う問題に対応する力は身に付いているが、身に付けた知識を活用し様々な資料と関連付け、総合的に考察し、適切に表現する力に課題がある。
数学 平均点 45.4点 (44.4点)	基礎的な計算力及び知識については定着が見られるが、条件を正しく立式する力、図形から読み取れる情報を整理し多面的に考察する力に課題がある。
理科 平均点 55.3点 (50.5点)	基礎的・基本的な知識を問う選択問題の正答率が高いが、実験の技能に関する設問や、実験結果を基に計算する力及び対照実験に関する理解については、課題が見られる。
英語 平均点 64.0点 (61.6点)	基本的なコミュニケーション能力の定着は見られる一方、英文の内容を読み取る力においては、的確に読み取る力が弱い生徒が多く、加えて適切な語句や語法を用いて表現することに課題がある。
各教科共通 (得点率・無答率)	知識・理解を問う基礎的・基本的な問題の正答率が高いが、思考力・判断力・表現力を必要とする問題の正答率・得点率が低く、無答率も高い傾向を示している。

平成30年度公立高等学校入学者選抜について

1 募集定員

		平成30年度	平成29年度	増減
募集定員(全日制課程+定時制課程)		15,560	15,720	▲ 160
全日制課程	前期選抜	4,814	4,846	▲ 32
	後期選抜※1	9,746	9,874	▲ 128
定時制課程	前期選抜	296	296	0
	後期選抜※1	704	704	0
通信制課程 (美田園高校)	一期入学者選抜	450	450	0
	二期入学者選抜	50	50	0

※1：後期選抜の定員は前期選抜後に確定する。

なお、全日制の後期選抜の募集人数には、併設型及び連携型中学校からの入学予定者302名を含む。

2 日程等

	前期選抜・連携型選抜※2	後期選抜	第二次募集※3
出願資格	志望する高等学校が事前に公表する「出願できる条件」を満たす生徒	前期選抜を受験していない生徒及び前期選抜に合格していない生徒	前期選抜、後期選抜のいずれにも合格していない生徒
実施日	平成30年1月31日(水)	平成30年3月6日(火)	平成30年3月20日(火) ※3
実施内容	○3教科の学力検査 (国語・数学・英語) ○学校独自検査 (面接・実技・作文等から1つ以上実施)	○5教科の学力検査 (国語・社会・数学・理科・英語) ○面接や実技を実施する 場合がある	面接、実技、作文、 学力検査のいずれか 1つ又は複数を実施 する場合がある※4
合格発表	平成30年2月8日(木)	平成30年3月14日(水)	平成30年3月20日 (火)・22日(木)※5

※2:連携型選抜 連携型中高一貫教育を行っている、南三陸町内の2中学校(志津川中、歌津中)の生徒を対象として、志津川高校において実施

※3:合格者数が募集定員に満たない高校で実施

※4:学力検査を実施する場合は、国語、数学、英語のうち1教科以上を実施

※5:実施校で決定し、後日公表

平成29年度公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

宮城県教育庁施設整備課

1 校舎等の耐震対策の実施状況

(1) 非木造（対象施設：2階建て以上又は延べ床面積200㎡超の建物）

学校区分		耐震化率		
		平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日
小中学校 2,298棟	県平均	99.8%	99.8%	99.9%
	全国平均	95.6%	98.1%	98.8%
高等学校 583棟	県平均	96.7%	97.2%	97.3%
	全国平均	93.7%	96.4%	97.9%
特別支援学校 100棟	県平均	100.0%	100.0%	100.0%
	全国平均	98.1%	99.1%	99.4%
幼稚園 45棟	県平均	98.1%	100.0%	100.0%
	全国平均	86.7%	91.0%	92.9%

(2) 木造（対象施設：3階建て以上又は延べ床面積500㎡超の建物）

学校区分		耐震化率		
		平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日
小中学校 16棟	県平均	90.0%	90.0%	93.8%
	全国平均	89.7%	92.7%	94.5%
高等学校 0棟	県平均	—	—	—
	全国平均	80.6%	87.7%	91.8%
特別支援学校 0棟	県平均	—	—	—
	全国平均	98.6%	100.0%	100.0%
幼稚園 28棟	県平均	100.0%	100.0%	100.0%
	全国平均	92.1%	94.3%	94.9%

※ 耐震化率 = 耐震性がある棟数（耐震補強済み含む）÷ 全棟数

※ 学校区分内の表示棟数は、宮城県の校舎等施設の全棟数

2 非構造部材の耐震対策の実施状況

(1) 屋内運動場等(※)における非構造部材の設置状況と耐震対策実施率

(※)屋内運動場・武道場・講堂・屋内プールで高さが6m超の天井または水平投影面積200㎡超の天井

(平成29年4月1日現在, 棟単位)

学 校 区 分			吊り天井を有する棟数				吊り天井を有しない棟数		
			設置数	設置率	対策済数	対策実施率 (A)	棟数	対策済数	対策実施率 (B)
小中 学校	宮城県	670 棟	40 棟	6.0%	23 棟	57.5%	630 棟	458 棟	72.7%
	全 国	32,671 棟	2,024 棟	6.2%	1,084 棟	53.6%	30647 棟	22235 棟	72.6%
高等 学校	宮城県	192 棟	47 棟	24.5%	7 棟	14.9%	145 棟	144 棟	99.3%
	全 国	8,270 棟	884 棟	10.7%	208 棟	23.5%	7,386 棟	6,644 棟	90.0%
特別 支援 学校	宮城県	28 棟	1 棟	3.6%	1 棟	100.0%	27 棟	27 棟	100.0%
	全 国	1,145 棟	90 棟	7.9%	70 棟	77.8%	1,055 棟	940 棟	89.1%
幼稚 園	宮城県	2 棟	1 棟	50.0%	1 棟	100.0%	1 棟	1 棟	100.0%
	全 国	101 棟	20 棟	19.8%	10 棟	50.0%	81 棟	53 棟	65.4%

※ 耐震対策実施率 = 耐震対策実施済みの棟数 ÷ 屋内運動場等全棟数

▶対策実施率 (A) : 吊り天井, 照明, バasketゴールの落下防止対策

▶対策実施率 (B) : 照明, バasketゴールの落下防止対策

※ 用語の説明

構造体・・・建物本体

非構造部材・・・天井材や外壁, 照明器具, 窓ガラス, 家具など, 構造体と区分した部材

屋内運動場等・・・屋内運動場, 武道場, 講堂, 屋内プール

耐震改修状況（構造体）

1 非木造施設

(1) 市町村立小中学校施設

耐震化率 100%

平成29年4月1日現在

設置者名	全棟数 A	耐震性がない 棟数 B	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 C	左記のうち、 Is値0.3未満 の棟数 D	耐震化率 E=(A-B)/A	平成29年度中に 耐震化が見込ま れる棟数 F	平成29年度末 耐震化率見込 G=(A-B+F)/A
仙台市	1,098	0	0	0	100.0%	0	100.0%
石巻市	138	0	0	0	100.0%	0	100.0%
塩竈市	63	0	0	0	100.0%	0	100.0%
気仙沼市	81	1	1	0	98.8%	0	98.8%
白石市	36	0	0	0	100.0%	0	100.0%
名取市	63	0	0	0	100.0%	0	100.0%
角田市	32	0	0	0	100.0%	0	100.0%
多賀城市	47	0	0	0	100.0%	0	100.0%
岩沼市	32	0	0	0	100.0%	0	100.0%
登米市	108	0	0	0	100.0%	0	100.0%
栗原市	52	0	0	0	100.0%	0	100.0%
東松島市	34	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大崎市	133	0	0	0	100.0%	0	100.0%
富谷市	32	0	0	0	100.0%	0	100.0%
蔵王町	10	0	0	0	100.0%	0	100.0%
七ヶ宿町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大河原町	15	0	0	0	100.0%	0	100.0%
村田町	11	0	0	0	100.0%	0	100.0%
柴田町	34	2	2	0	94.1%	2	100.0%
川崎町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
丸森町	18	0	0	0	100.0%	0	100.0%
亘理町	24	0	0	0	100.0%	0	100.0%
山元町	13	0	0	0	100.0%	0	100.0%
松島町	14	0	0	0	100.0%	0	100.0%
七ヶ浜町	14	0	0	0	100.0%	0	100.0%
利府町	35	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大和町	29	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大郷町	5	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大衡村	7	0	0	0	100.0%	0	100.0%
色麻町	4	0	0	0	100.0%	0	100.0%
加美町	40	0	0	0	100.0%	0	100.0%
涌谷町	19	0	0	0	100.0%	0	100.0%
美里町	28	0	0	0	100.0%	0	100.0%
女川町	10	0	0	0	100.0%	0	100.0%
南三陸町	15	0	0	0	100.0%	0	100.0%
合計	2,298	3	3	0	99.9%	2	100.0%

(2) 県立・市立高等学校施設

耐震化率 100%

平成29年4月1日現在

設置者名	全棟数 A	耐震性がない棟数			耐震化率 E=(A-B)/A	平成29年度中に耐震化が見込まれる棟数 F	平成29年度末耐震化率見込 G=(A-B+F)/A
		B	C	D			
仙台市	44	0	0	0	100.0%	0	100.0%
石巻市	5	0	0	0	100.0%	0	100.0%
宮城県	534	16	0	0	97.0%	0	97.0%
合計	583	16	0	0	97.3%	0	97.3%

(3) 県立・市立特別支援学校施設

耐震化率 100%

平成29年4月1日現在

設置者名	全棟数 A	耐震性がない棟数			耐震化率 E=(A-B)/A	平成29年度中に耐震化が見込まれる棟数 F	平成29年度末耐震化率見込 G=(A-B+F)/A
		B	C	D			
仙台市	8	0	0	0	100.0%	0	100.0%
宮城県	92	0	0	0	100.0%	0	100.0%
合計	100	0	0	0	100.0%	0	100.0%

(4) 市町村立幼稚園施設

耐震化率 100%

平成29年4月1日現在

設置者名	全棟数 A	耐震性がない棟数			耐震化率 E=(A-B)/A	平成29年度中に耐震化が見込まれる棟数 F	平成29年度末耐震化率見込 G=(A-B+F)/A
		B	C	D			
仙台市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
石巻市	3	0	0	0	100.0%	0	100.0%
気仙沼市	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
白石市	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
登米市	14	0	0	0	100.0%	0	100.0%
栗原市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
東松島市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大崎市	6	0	0	0	100.0%	0	100.0%
富谷市	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
蔵王町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
村田町	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大郷町	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
色麻町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
加美町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
涌谷町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
美里町	3	0	0	0	100.0%	0	100.0%
合計	45	0	0	0	100.0%	0	100.0%

2 木造施設

(1) 市町村立小中学校施設

耐震化率 100%

平成29年4月1日現在

設置者名	全棟数 A'	耐震性がない棟数			耐震化率 E'=(A'-B')/A'	平成29年度中に耐震化が見込まれる棟数 F'	平成29年度末耐震化率見込 G'=(A'-B'+F')/A'
		B'	耐震性がない建物の中で、第二次診断等実施済棟数(※1) C'	左記のうち、Iw値0.7未満の棟数 D'			
仙台市	3	0	0	0	100.0%	0	100.0%
気仙沼市	3	1	0	0	66.7%	0	66.7%
角田市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
岩沼市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
登米市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
東松島市	3	0	0	0	100.0%	0	100.0%
山元町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
加美町	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
南三陸町	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
合計	16	1	0	0	93.8%	0	93.8%

(2) 市町村立幼稚園施設

耐震化率 100%

平成29年4月1日現在

設置者名	全棟数 A'	耐震性がない棟数			耐震化率 E'=(A'-B')/A'	平成29年度中に耐震化が見込まれる棟数 F'	平成29年度末耐震化率見込 G'=(A'-B'+F')/A'
		B'	耐震性がない建物の中で、第二次診断等実施済棟数(※1) C'	左記のうち、Iw値0.7未満の棟数 D'			
石巻市	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
気仙沼市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
角田市	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
登米市	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
栗原市	6	0	0	0	100.0%	0	100.0%
大崎市	5	0	0	0	100.0%	0	100.0%
蔵王町	1	0	0	0	100.0%	0	100.0%
川崎町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
加美町	6	0	0	0	100.0%	0	100.0%
涌谷町	2	0	0	0	100.0%	0	100.0%
合計	28	0	0	0	100.0%	0	100.0%

※1 平成18年1月25日付け国土交通省告示第184号の別添「建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に規定された木造建築物の耐震診断の指針に基づく診断(以下「告示に基づく診断」とする)を行った建物の棟数

非構造部材の耐震対策状況調査結果

1 屋内運動場等における吊り天井の設置状況及び対策実施率

(1) 市町村立小中学校施設

平成29年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※2) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井(棟単位)					
	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※3)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	吊り天井を有していない棟数(H28年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)
	A=B+C	B	C	D=E+F	E	F
仙台市	5	5	0	253	253	0
石巻市	9	0	9	45	9	36
塩竈市	1	1	0	12	12	0
気仙沼市	0	0	0	27	14	13
白石市	1	1	0	15	0	15
名取市	0	0	0	0	0	0
角田市	0	0	0	14	0	14
多賀城市	2	0	2	12	0	12
岩沼市	1	1	0	1	1	0
登米市	0	0	0	35	35	0
栗原市	1	1	0	20	20	0
東松島市	9	5	4	5	1	4
大崎市	3	3	0	47	11	36
富谷市	0	0	0	13	13	0
蔵王町	0	0	0	8	0	8
七ヶ宿町	0	0	0	1	0	1
大河原町	0	0	0	5	4	1
村田町	0	0	0	6	6	0
柴田町	0	0	0	12	2	10
川崎町	0	0	0	0	0	0
丸森町	0	0	0	9	9	0
亘理町	0	0	0	10	10	0
山元町	0	0	0	6	6	0
松島町	0	0	0	4	4	0
七ヶ浜町	0	0	0	7	7	0
利府町	0	0	0	9	9	0
大和町	1	0	1	9	8	1
大郷町	0	0	0	2	2	0
大衡村	0	0	0	2	1	1
色麻町	1	1	0	1	1	0
加美町	3	3	0	12	0	12
涌谷町	0	0	0	9	9	0
美里町	0	0	0	11	11	0
女川町	0	0	0	2	0	2
南三陸町	3	2	1	6	0	6
合計	40	23	17	630	458	172

(2) 県立・市立高等学校施設

平成29年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※2) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井(棟単位)					
	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井			吊り天井を有していない棟数(H28年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)		
	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※3) A=B+C	対策未実施の棟数(一部未実施含む) B	対策未実施の棟数(一部未実施含む) C	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4) D=E+F	対策未実施の棟数(一部未実施含む) E	対策未実施の棟数(一部未実施含む) F
仙台市	4	4	0	13	13	0
石巻市	0	0	0	2	1	1
宮城県	43	3	40	130	130	0
合計	47	7	40	145	144	1

(3) 県立・市立特別支援学校施設

平成29年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※2) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井(棟単位)					
	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井			吊り天井を有していない棟数(H28年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)		
	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※3) A=B+C	対策未実施の棟数(一部未実施含む) B	対策未実施の棟数(一部未実施含む) C	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4) D=E+F	対策未実施の棟数(一部未実施含む) E	対策未実施の棟数(一部未実施含む) F
仙台市	0	0	0	0	0	0
宮城県	1	1	0	27	27	0
合計	1	1	0	27	27	0

(4) 市町村立幼稚園施設

平成29年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※2) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井(棟単位)					
	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井			吊り天井を有していない棟数(H28年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)		
	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※3) A=B+C	対策未実施の棟数(一部未実施含む) B	対策未実施の棟数(一部未実施含む) C	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4) D=E+F	対策未実施の棟数(一部未実施含む) E	対策未実施の棟数(一部未実施含む) F
登米市	0	0	0	1	1	0
色麻町	1	1	0	0	0	0
合計	1	1	0	1	1	0

※2 屋内運動場等：屋内運動場・武道場・講堂・屋内プールとして使用する大規模空間（高さか6mを超える又は面積が200㎡を超える空間）

※3 「落下防止対策実施済み」とは、吊り天井・照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策（吊り天井については、国土交通省が平成26年4月に施行された技術基準を満たす対策。撤去を除く。）を実施した又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数

※4 「照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み」とは、照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策を実施済みの棟数又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数

宮城県美術館リニューアル基本方針策定検討会議について

1 趣旨

平成29年3月に策定した「宮城県美術館リニューアル基本構想」に基づき、今年度、具体的な改修内容等を明確にした「リニューアル基本方針（以下、「基本方針」という。）」を策定するにあたり、県教育庁代表者及び有識者で組織する「リニューアル基本方針策定検討会議（以下、「策定検討会議」という。）」を設置し、内容の検討を進めるもの。

2 基本方針とは

基本構想を踏まえ、リニューアルの方針、施設の改修内容と諸室構成、概算事業費、事業スケジュール等を定めるもの。

3 策定検討会議について

- (1) 構成員： 教育庁2名 教育庁教育次長、宮城県美術館長
有識者7名 美術館運営、文化振興、経済・観光、芸術家、建築、
市町村代表、学識者・利用者 各1名
- (2) 開催： 年4回程度（平成29年8月、10月、12月、平成30年2月）
- (3) その他： 美術館・生涯学習課で組織するWGを設置し、基本方針策定に向けた諸課題について整理するとともに、策定検討会議に諮る資料の調製等を行う。
また、外部委託により、「既存施設の改修に係る調査（ハード）」及び「基本方針原案作成に係る調査（ソフト）」を実施する。

4 基本方針に盛り込む主な内容（案）

- (1) リニューアルの方針
 - ① 現状の把握と課題整理
 - ② 施設の整備及び運営の基本方針
- (2) 施設の改修内容と諸室構成
 - ① 施設整備の課題
 - ② 求められる機能と役割、具体的な事業展開
 - ③ 諸室の構成・規模
 - ④ 施設整備計画
 - ⑤ 必要な基本的機能の整理
- (3) 事業計画
 - ① 概算事業費
 - ② 事業スケジュール
 - ③ 事業者選定手法

5 県民からの意見聴取

「基本方針（中間案）」に対してパブリックコメントを行うとともに、県内外の文化・芸術関係者等から個別に意見を聴取し、「基本方針」に反映させていく。

また、「県民フォーラム（仮称）」を開催するなど、幅広く県民から意見を聴取する機会を設けながらリニューアルを進めていく。

宮城県美術館リニューアル基本方針策定検討会議 構成員

分野	所属	氏名（敬称略）
教育庁	理事兼教育次長	西村 晃一
	宮城県美術館館長	有川 幾夫
美術館運営	いわき市立美術館嘱託館長	佐々木 吉晴
文化振興	公益財団法人宮城県文化振興財団理事長	宮原 賢一
経済・観光	仙台商工会議所専務理事	今野 薫
芸術家	画家，東北生活文化大学非常勤講師	及川 聡子
建築	東北大学大学院工学研究科教授	小野田 泰明
市町村	大衡村教育委員会教育長兼大衡村ふるさと美術館長	庄子 明宏
学識者・利用者	元東北福祉大学教授	濱田 淑子

はじめに

- 1980年代に提唱された「開かれた」総合美術センター的性格を持つアートミュージアムの理念をリニューアルを機に再構築し、次のように取り組むこととした。
 - コレクションと教育普及プログラムの連携により、20世紀美術における表現形式、素材、技法等の革新を踏まえながら、現代にまで及び美術の多様性を体感できるようにする。
 - 次世代を担う子どもたちを対象にした「遊び」と「学び」の場となる施設とプログラムを充実し、家族連れの来訪など大人にも美術の豊かさや楽しさを感じる機会を提供する。
 - 美術館を取り巻く豊かな自然やアクセスのしやすさを生かして、サードプレイス^(※)としての美術館を念頭に、日常的に利用される美術館への進化を図る。^{(※)サードプレイス=自宅や職場と隔絶した創造的な交流の場}
- 東日本大震災からの復興は、物質的な復興にとどまらず、未来を展望する勁く豊かな心を育むことであり、美術はその一助となることから、美術館のリニューアルに当たってはそのことを強く意識し、心の復興の一端を担う集いの場ともなるべく検討を重ねた。

第1章 リニューアルの背景

<p>1 美術館の歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■昭和56年11月に「博物館法」に基づく登録博物館として設置された。 ■「東北の美術館」として国内外の優れた作品を収集、展示して鑑賞の機会を提供してきた。 ■活発な教育普及活動を推進し地域における総合美術センターとしての役割を担ってきた。 ■35年が経過し、県美術館のこれまで担ってきた役割は見直しが必要となった。 ■美術に関する県民の関心や期待が多様化し、県民ニーズへの対応が難しい状況になりつつある。 	<p>2 美術館を巡る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)国及び県の文化芸術政策 イ 文化芸術の社会的重要性が明確に認識されるに至った。 (2)文化芸術を取り巻く社会状況の変化 イ 東北各県にも県立美術館が設置された(山形県を除く)。 ロ 県民の美術活動を行う機会が開館時に比べ充実している。 ニ 公共施設には人にやさしい環境整備が求められている。 <p>□ 学校教育における図工・美術の授業時数は減少傾向にある。</p> <p>小6：昭和22年度 週2時間→平成14年度 週1.4時間 中3：昭和22年度 週2時間→平成14年度 週1時間</p> <p>ハ 美術の表現手法やあり方は拡大、多様化している。 ホ 東日本大震災で被災した県民の心の復興が急務となっている。</p>
<p>3 美術館の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)良好な立地条件と合理性のある建築物(仙台都心部からアクセス至便、管理しやすい建築物) (2)開館以来、35年間の活動の蓄積(創作活動支援や教育プログラムの提供) (3)充実したコレクション(本県ゆかりの作家の作品等、国内外の優れた美術作品約6,800点を所蔵) (4)「いつでも、だれでも」利用できるアトリエの設置 	<p>4 現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)収集成果を反映した展示環境の充実 (2)国際的基準を満たす展示環境の整備 (3)収蔵庫の狭隘化 充足率:本館:142.5% 記念館:124.5% (5)収蔵庫の狭隘化 (7)建物・設備の全面的な改修 <p>極めて深刻な老朽化が見られ、一刻の猶予もならない緊急的課題</p> <ul style="list-style-type: none"> (2)コレクションを有効活用するための展示室の整備 (4)美術品に係るセキュリティ及び防災機能の充実 (6)近年の利用者ニーズに対応した教育普及機能・活動の充実 (8)アメニティの充実 (9)国内外の動向に呼応した施設機能の整備

第2章 これからの宮城県美術館が目指す方向性

1 宮城県美術館が果たすべき役割

- 基本的性格：「開かれた」総合美術センター的性格をも兼ね備えた美術館
- 設置の趣旨：多角的機能を持つ総合美術センターの役割を果たす施設

継承

●時代の変化により新たに生まれた県民ニーズへの対応

●総合美術センターとして現在期待される美術館の機能と役割に的確に対応

●県社会教育施設とし「宮城県震災復興計画」や「宮城県地方創生総合戦略」との整合性に留意

新たな課題やニーズに対応

2 宮城県美術館運営の基本方針

- 優れた美術作品を収集、展示して、広く県民に鑑賞の機会を提供する。
- 県民の積極的参加による創作活動の推進を図る。
- 美術に関するさまざまな体験交流の場となるよう、活発な普及活動を行う。
- 美術に関連する他の領域と連携して、文化的諸活動を行う。

継承

3 リニューアルに向けた基本的な考え方

- (1) 持てる財産・資源を最大限に有効活用
 - ・良好な立地条件と合理性のある建築設計を活かして既存建物の改修(増築の検討を含む。)を基本に検討を行う。
- (2) 他館・文化施設等との連携及び機能分担の検討
 - ・他施設との連携や機能の棲み分けを行い、県美術館の果たすべき役割・機能の再検討を行う。
- (3) 県民及び利用者からの意見の反映
 - ・リニューアルの検討過程について、県民や利用者積極的に情報提供し、意見・要望等を聴取しながらリニューアルの方向性を検討していく。

4 リニューアルのコンセプト

展示、収蔵、調査研究、教育普及など現美術館の基本機能を一層強化 + **新たな機能や魅力の創出**

- (1) 子どもたちの豊かな体験を創出する美術館
次代を担う子どもたちが、美術を身近なものとして捉え、美術に触れる機会を確保し、美術を楽しむきっかけづくりの場を提供する。
⇒ **子どもたちの豊かな感性や創造性、知的好奇心を育む活動拠点＝「キッズ・ラボ(仮称)」を設置**
- (2) 人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館
来館者が質の高い芸術文化に触れ、その余韻を楽しみながら、ゆっくりとくつろぐことができる空間を提供する。
⇒ **美術館所有のコレクション等を活用したラウンジの整備、国が推進する「ゆう活」に連動し、夏季期間・週末等の開館時間を延長**
- (3) 国内外の人々が魅了される美術館
美術館が有する資源を積極的に活用し、芸術文化の側面から地域活性化や観光振興など本県経済の発展に貢献する。
⇒ **美術館を魅力ある観光資源と位置づけ、国際会議開催等におけるセミナー、レセプション会場としての利用ニーズを喚起**
- (4) ともに築きあう美術館
新たな時代環境に即した「開かれた美術館」として県民とともに築きあい、発展し、そして親しまれる美術館を目指した業務運営を行う。
⇒ **報道機関やボランティアなど外部人材との連携、協力することとし、ボランティア等がより活発に活動できる拠点を整備**

美術を楽しむきっかけづくりの場

上質なくつろぎの空間

国内外からの誘客促進に貢献

ボランティア等との連携強化

第3章 宮城県美術館に求められる機能と役割

- 収集・展示：
 - ①美術作品の継続的・計画的な収集を行うことにより、体系的な常設展示ができるよう、コレクションを一層充実
 - ②展示環境の整備・充実(十分な展示室面積の確保、作品の特性に応じた専用スペース及び自在性のある汎用スペースの確保等)
 - ③展示・収蔵環境条件の高度化(24時間空調システム等の整備、調光機能のついた照明機器の設置、一時保管収蔵庫の設置等)
- 収蔵：コレクションの充実に対応した収蔵スペース及びセキュリティ機能の確保、作品素材や形状など所蔵品の特性に応じた保存環境の整備
- 調査研究：基礎的な調査研究の継続及び調査研究成果の発信
- 教育普及：
 - ①開館当初から実施してきた各種教育普及プログラムや「いつでも、だれでも」利用できるオープン・アトリエの機能を充実
 - ②個展やグループ展など、県民の創作活動の発表及び鑑賞の場を提供
- 五感で楽しみ、心の潤いと交流が生まれる場：宮城県美術館のコレクションや図書を有効に活用したラウンジの整備等
- ユニバーサルデザイン化や地球環境への配慮：①誰もが公平に美術館の楽しさや享受できるように、施設や設備等を充実
②屋上太陽光発電設備や地中熱ヒートポンプの導入等により環境負荷を低減
- 情報発信の充実・強化：県美術館の収蔵作品や地元芸術家の創作活動状況をはじめとする関連情報の集積と発信
- 地方創生への貢献：県内企業等との連携を強化、美術館のポテンシャルを有効に活用しインバウンドを呼び込むことにより地域経済を活性化

第4章 本構想の実現に向けて

- 施設整備の手法
 - 既存建物の改修(増築の検討を含む。)を基本に検討
 - 立地条件・周辺環境の優位性や建築物としての合理性・価値の高さに加えコスト面も総合的に勘案
- 事業手法等
 - 維持管理業務を外部委託する従来方式のほか、指定管理方式やPFI方式などについてメリット・デメリットを検証し、長期的に安定的かつ継続性のある手法を選択
 - 多くの方々に事業面、資金面等から美術館を支えていただける仕組みづくりの推進
- スタッフの充実
 - 学芸員の資質能力の向上と企画・マーケティングの専門職員を必要に応じ配置
 - ボランティアなど外部人材との連携を担うコーディネーター的スタッフを必要に応じ配置
- 本構想策定後のプロセス
 - 具体的改修内容及び運営方針・運営体制を検討し、基本方針を策定
 - 設計・施工者は、外部有識者を加えた委員会等により公募方式により選定
 - 平成36年度のリニューアルオープンを目指す。基本方針において詳細な年次スケジュールを定める。

おわりに

- 本構想は、美術館が開館した昭和56年から今日までの歩みを振り返りつつ、さまざまな状況の変化を踏まえ、リニューアルに向けて目指すべき姿を形にしたもの。
- 県民等の期待に応え、これからの時代にふさわしい、よりよい美術館になるようリニューアルに当たって、以下3点を目標に掲げる。
 - (1) これまで以上にさまざまな人・情報・資源が集まり、交わり、繋がり、広がる芸術文化の拠点として生まれ変わる。
 - (2) 次代を担う子どもたちが、幼い頃から美術に親しみ、楽しむことを通して、豊かな創造性や感性、自己表現力を育めるよう全力でサポートする。また、大人にも美術の豊かさや楽しさを感じる機会を提供する。
 - (3) 芸術文化の力を生かし、東日本大震災からの県民の心の復興と宮城県の創造的復興に寄与する。
- 県民をはじめとした多くの方々と本構想を共有し、その実現を目指す。

平成29年度全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）
の本県出場校等について

1 開催県 山形県（幹事県）・宮城県・福島県 <南東北三県>

※ヨット競技は、和歌山県で固定開催

2 開催期間 平成29年7月28日（金）～8月20日（日）

※総合開会式は、7月28日に山形県総合運動公園総合体育館で開催

3 本県開催競技 11競技13種目

※インターハイ開催競技は、全30競技34種目

4 本県開催市町 6市4町

5 本県の開催状況 平成2年の単独開催以来、27年ぶりの開催

6 本県の団体種目出場校・個人種目出場人数

平成29年6月30日現在

	開催競技			区分	団体		個人種目(人) ※延べ人数
	競技種目	会場地	開催期間				
宮城県	水泳	競泳	利府町	8/17～8/20	男		エントリー中
				女			
		飛込		8/17～8/20	男		
			女				
		水球	柴田町	8/17～8/20	男	エントリー中	
	バレーボール	利府町	7/28～8/1	女	古川学園利府	府	
		多賀城市	<7/28開会式のみ>				
	サッカー	仙台市	(男子)7/28～8/4	男	仙台育英東北学院	成	
		松島町					<7/28開会式のみ>
		七ヶ浜町	(女子)7/30～8/4	女	常盤木明		
		利府町	<7/30開会式のみ>				
	相撲	大崎市	8/4～8/6	男	小牛田農林加美農	4	
	ボート	登米市	8/2～8/6	男	佐沼石巻工	2	
石巻石巻工							
			女	石巻佐沼	2		
				石巻佐沼			
剣道	仙台市	8/9～8/12	男	小牛田農林	仙台育英	4	
			女	柴田	小牛田農	4	
弓道	仙台市	8/1～8/4	男	泉	石巻好文館	4	
			女	塩釜	尚綱	4	
フェンシング	気仙沼市	7/31～8/4	男	仙台城南	仙台三	4	
			女	気仙沼	仙台三	4	
アーチェリー	利府町	8/9～8/12	男	仙台工	仙台高専名取	2	
			女	仙台工	—	2	
なぎなた	仙台市	8/10～8/12	女	仙台育英	古川黎明	8	
少林寺拳法	塩竈市	8/5～8/7	男	東	北東北生文大高	12	
			女	塩釜	東東北生文大高	12	

	開催競技			区分	団体		個人種目(人) ※延べ人数	
	競技種目	会場地	開催期間					
山形県	陸上競技	天童市	7/28~8/2 <7/28開会式のみ>	男			27	
				女			51	
	体操競技	酒田市	8/1~8/4 <8/1開会式のみ>	男	明成	—	2	
				女	常盤木	—	2	
	新体操	山形市	8/10~8/12 <8/10開会式のみ>	男	名取	—	1	
				女	常盤木	—	1	
	バレーボール	山形市	7/28~8/1 <7/28開会式のみ>	男	仙台商	—		
		寒河江市						
		天童市						
	バドミントン	鶴岡市	7/29~8/3 <7/29開会式のみ>	男	聖ウルスラ	—	6	
		新庄市						
		尾花沢市						
	ソフトボール	男子	南陽市	8/4~8/8 <8/4開会式のみ>	男	白石工	—	
		女子	白鷹町 長井市	7/29~8/2 <7/29開会式のみ>	女	利府	—	
	レスリング		上山市	7/30~8/2	男	仙台城南	—	8
登山		山形市	7/30~8/3 <8/3開会式のみ>	男	古川	—		
		西川町		女	宮城	—		
ホッケー		川西町	7/28~8/2 <7/28開会式のみ>	男	—	—		
		米沢市		女	築館	—		
カヌー		西川町	8/6~8/10 <8/6開会式のみ>	男			14	
				女			7	
バスケットボール	福島市	7/27~8/2 <7/27開会式のみ>	男	明成	—			
			女	聖和	—			
卓球	郡山市	7/28~8/2 <7/28開会式のみ>	男	聖和	—	8		
			女	聖和	—	9		
ソフトテニス	会津若松市	(男子)7/22~7/25 <7/22開会式のみ>	男	東北	北	—	16	
		(女子)7/26~7/29 <7/26開会式のみ>	女	東北	北	—	16	
ハンドボール	福島市	8/4~8/10 <8/4開会式のみ>	男	利府	—			
			女	聖和	—			
柔道	郡山市	8/8~8/12	男	東北	北	—	7	
			女	東北	北	—	7	
テニス	会津若松市	8/1~8/8 <8/1開会式のみ>	男	東北学院	—	4		
			女	聖和	—	4		
自転車競技	トラック	いわき市	7/26~7/30 <7/26開会式のみ>	男			18	
				女			1	
	ロード	石川町・浅川町		男			1	
				女				
ボクシング		会津若松市	8/4~8/10 <8/4開会式のみ>	男			5	
ウェイトリフティング		福島市	8/2~8/6 <8/2開会式のみ>	男			12	
空手道		猪苗代町	7/28~7/31 <7/28開会式のみ>	男	東北学院	—	4	
				女	石巻桜坂	—	4	
和歌山県	ヨット	和歌山市	8/12~8/16 <8/12開会式のみ>	男	420級	仙台二	—	
					FJ級	塩釜	—	
				女	420級	塩釜	—	
					FJ級	—	—	

7 参加者見込数

<宮城県開催11競技13種目>

参加選手(関係者含)		観客者数 (延べ人数)	役員数			補助員(県内高校生)		
※参加校	計		県外	県内	計	競技	運営	
約11,000人	約2,000校	約152,000人	約3,300人	約800人	約2,500人	約4,500人	約2,300人	約2,200人

※先催県実績(H23~H27)の平均値



Jリーグ公式戦のハーフタイムで大会をPR



大会カウントダウンボードを仙台駅・県庁に設置！

高校生がインターハイを支えます！

県内の高校生が、インターハイを盛り上げ、支えていこうと、大会の準備・運営や来場者へのおもてなし等、様々な活動を行っています！
地域のイベントでの広報活動や会場周辺の清掃活動などを行い、全国からたくさんの方が来られるのを心待ちにしています！



会場装飾 キャップアートの制作



開催100日前PRイベントの実施

高校生へのメッセージ

週刊少年ジャンプで連載5周年を突破し、今なお大人気連載中の、宮城県を舞台とした高校生バレーボール漫画「ハイキュー!!」作者である古館春一先生が、直筆のイラストと高校生のみなさんへのメッセージを描き下ろしてくださいました。

インターハイに参加する選手のみなさん、
『はばたけ世界へ!!』



©古館春一/集英社

大会会場、日程等の詳細は・・・
公式ホームページ <http://2017soutai.jp/>

県内の高校生活動の情報等は・・・
公式Facebook <https://www.facebook.com/interhigh.miyagi/>



27年ぶりのインターハイ開催！

インターハイは、平成23年度より、従来の単県開催からブロック開催になりました。平成29年度は、山形・宮城・福島（南東北ブロック）で開催します。（ただしヨット競技は和歌山県固定開催）
宮城県では、県内10市町を会場に11競技13種目【水泳（競泳・飛込・水球）、バレーボール女子、サッカー、相撲、ボート、剣道、弓道、フェンシング、アーチェリー、なぎなた、少林寺拳法】を実施します。
宮城県でのインターハイ開催は、平成2年度以来27年振りとなります。

仙台市

- サッカー**
会場：ユアテックスタジアム仙台
仙台市泉総合運動場 泉サッカー場 泉グラウンド
日程：7/29(土)～8/4(金)
- 弓道**
会場：カメイアリーナ仙台
日程：8/1(火)～8/4(金)
- 剣道**
会場：カメイアリーナ仙台
日程：8/9(水)～8/12(土)
※8/9は開会式のみ(同会場)
- なぎなた**
会場：仙台市新田東総合運動場 (元気フィールド) 宮城野体育館
日程：8/10(木)～8/12(土)



柴田町

- 水球**
会場：ヒルズ県南総合プール
日程：8/17(木)～8/20(日)



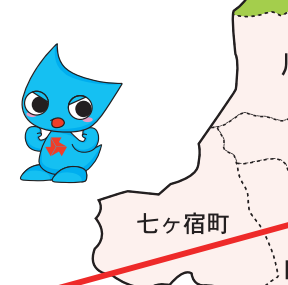
インターハイマスコットキャラクター

『ウニンくん』

出身：高校生アスリートや応援する仲間たちが流す青春の汗と涙から生まれた。
性格：元気で、明るく、楽しいけれど、おっちょこちょいで涙もろい。
得意なスポーツ：スポーツ全般！！
な、つもり。
特技：みんなの応援！



©インターハイ



大崎市

- 相撲**
会場：大崎市鳴子スポーツセンター
日程：8/4(金)～8/6(日)



登米市

- ボート**
会場：アイエス総合ボートランド
日程：8/2(水)～8/6(日)
※8/2は開会式のみ (登米祝祭劇場(水の里ホール))



気仙沼市

- フェンシング**
会場：気仙沼市総合体育館
日程：7/31(月)～8/4(金)
※7/31は開会式のみ(同会場)



松島町

- サッカー**
会場：松島フットボールセンター 松島運動公園多目的運動広場
日程：7/28(金)～7/31(月)
※(男子) 7/28は開会式のみ (女子) 7/30は開会式のみ (男女とも松島町文化観光交流館)



塩竈市

- 少林寺拳法**
会場：塩釜ガス体育館
日程：8/5(土)～8/7(月)



七ヶ浜町

- サッカー**
会場：七ヶ浜サッカースタジアム
日程：7/29(土)～8/1(火)



多賀城市

- バレーボール(女子)**
会場：多賀城市総合体育館
日程：7/29(土)～7/30(日)



利府町

- 競泳・飛込**
会場：セントラルスポーツ宮城 G21 プール
日程：8/17(水)～8/20(日)
- バレーボール(女子)**
会場：セキスイハイムスーパーアリーナ 利府町総合体育館
日程：7/28(金)～8/1(火)
※7/28は開会式のみ (セキスイハイムスーパーアリーナ)
- サッカー**
会場：ひとめぼれスタジアム宮城 みやぎ生協めぐみ野サッカー場
日程：7/29(土)～8/3(木)
- アーチェリー**
会場：ひとめぼれスタジアム宮城
日程：8/9(水)～8/12(土)
※8/9は開会式のみ (セキスイハイムスーパーアリーナ)



※詳しくは、裏面の「競技会場・競技日程」をご覧ください。

第４１回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文２０１７）の開催について

- 1 開催趣旨 高等学校教育の一環として、高等学校生徒に芸術文化活動の場を提供することにより、芸術文化活動への参加意欲を喚起し、創造的な人間育成を図るとともに、芸術文化活動を通じて、全国的、国際的規模での生徒相互の交流・親睦を図る。併せて、本大会を通じ、宮城の復興の確かな歩みと元気な姿を広く発信し、御支援をいただいた多くの方々に感謝の気持ちを表す。
- 2 大会日程 総合開会式 7月31日（月） 仙台サンプラザホール
パレード 7月31日（月） 宮城野通
23部門 7月31日（月）～8月4日（金） 各会場
- 3 大会参加者数 約20,000人（県内：約3,000人）
- 4 大会運営者数(延べ) 約22,000人（教員：約5,000人，生徒：約17,000人）

5 総合開会式

(1) 実施内容

プログラム	時間(予定)	主な実施内容
プロローグ	13:00(10分)	○オープニングアクト（導入劇）「七夕の夜に」 ○宮城県紹介映像映写（放送専門部制作）
第1部 式典	13:10(55分)	○都道府県，招聘国，部門代表生徒入場 ○全国高文連旗の引き継ぎ ○国歌斉唱 ○全国高文連の歌合唱 ○宮城県知事等のあいさつ ○生徒実行委員長歓迎のことば ○大会イメージソング合唱
第2部 交流	14:05(40分)	○二県交流（後催県（長野県）の高校生との生徒交流） ○国際交流（招聘国（アメリカ，中国，韓国）の芸術文化活動発表）
休憩	14:45(15分)	*部門紹介スライド映写
第3部 開催県発表	15:00(55分)	○構成劇「天のかわかぜ ～短冊がつなぐ想い～」
フィナーレ	15:55(5分) 16:00 終了予定	○メッセージ（東日本大震災の被災支援への感謝） ○大会イメージソング合唱 ○フィナーレ演出

- (2) 観覧者数 約1,700人（うち，一般観覧者 約700人）

みやぎ総文2017 大会参加者数一覧 [開催部門別]

開催部門		実施日程(平成29年7月~8月)					主会場	参加者			
		31	1	2	3	4		全国		(宮城県)	
		月	火	水	木	金		学校数	人数	学校数	人数
開 会 行 事	総合開会式	○					仙台サンプラザホール	105	551	(48)	(451)
	パレード	○					宮城野通	68	2,058	(3)	(204)
1	演劇		○	○	○		仙台銀行ホール イズミティ21	28	265	(3)	(30)
2	合唱					○	東京エレクトロンホール宮城	147	1,757	(21)	(273)
3	吹奏楽				○	○	多賀城市文化センター	92	2,692	(15)	(524)
4	器楽・管弦楽		○	○			岩沼市民会館	127	2,409	(14)	(308)
5	日本音楽	○	○				多賀城市文化センター	74	964	(7)	(37)
6	吟詠剣詩舞				○		美里町文化会館	119	286	(4)	(13)
7	郷土芸能			○	○	○	名取市文化会館	58	1,442	(3)	(44)
8	マーチングバンド・ パトントワリング			○			宮城野体育館	55	1,602	(3)	(122)
9	美術・工芸	○	○	○	○	○	宮城県美術館	371	475	(9)	(10)
10	書道	○	○	○	○	○	青葉体育館	269	346	(4)	(5)
11	写真	○	○	○	○	○	せんだいメディアテーク	241	371	(6)	(14)
12	放送				○	○	日立システムズホール仙台	400	870	(9)	(77)
13	囲碁	○	○				ホワイトキューブ	199	237	(9)	(16)
14	将棋				○	○	ホワイトキューブ	240	410	(7)	(19)
15	弁論			○	○		東松島市コミュニティセンター	63	66	(3)	(3)
16	小倉百人一首かるた	○	○	○			塩釜ガス体育館	178	322	(4)	(8)
17	新聞	○	○	○	○	○	東京エレクトロンホール宮城	154	375	(3)	(5)
18	文芸	○	○	○	○	○	仙台国際センター	186	197	(6)	(7)
19	自然科学			○	○	○	石巻専修大学	179	558	(8)	(49)
20	(協賛) 特別支援学校		○	○	○		藤崎百貨店	21	457	(21)	(457)
21	(協賛) ボランティア		○	○	○		東北歴史博物館	51	243	(12)	(137)
22	(協賛) 軽音楽			○			大崎市民会館	21	112	(3)	(11)
23	(協賛) 工業				○	○	仙台国際センター	11	179	(11)	(179)
合 計								3,457	19,244	(236)	(3,003)